

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(1)「COOL JAPAN FOREST構想」の推進
----------	-----------------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ところざわサクラタウンを中心にした地域一体的なエリア構築(東所沢駅周辺、所沢市観光情報・物産館「YOT-TOKO(よっとこ)」、東所沢公園等) ・県や周辺自治体と連携した観光・文化事業等の実施 ・観光コースの設定等による国内外観光客の受入れ体制の整備 ・観光客をターゲットにした観光物産品の開発(狭山茶などの特産品を活かす) ・市内各スポットとの連動性を高め「埼玉ダイレクト」を実現する交通アクセスの構築 ・重点推進エリア「COOL JAPAN FOREST」への先端産業の誘致 ・構想の浸透を図るための啓発及び情報発信(各種メディアの活用)
進捗状況	概ね順調に進行している(経営企画課で全体評価)

令和4年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット作成やパネル展示、出前講座の開催等による啓発を行い、市民等に対する構想の周知を図っている。 ・所沢駅周辺及び東所沢エリアは、開発や緑地確保の具体的活動が進行している。民間企業や関係団体との連携のもと、様々な情報発信の手法を活用し、所沢市及び所沢ブランドの認知度向上に貢献している。 ・農商工連携推進事業や所沢ブランド特産品創出支援事業、地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業等を活用して地元農産物等を使った地域ブランドづくりを進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ところざわサクラタウンの認知度が高まっているものの、構想の周知が停滞している。 ・市外において構想をはじめとする所沢市の魅力PRが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果創出期の取り組みとともに、引き続き出前講座や市の仕事報告会等により構想の周知・啓発を行う。 ・更なる本市地域・経済の活性化やにぎわいを創出し、文化の創造と発信等に取り組むことにより、都市イメージの向上を図っていく。
物産館	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産品等の魅力発信拠点として、指定管理者とともに適正かつ円滑に管理運営及び活用した。 ・令和4年5月29日にYOT-TOKO1周年祭を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナにおける観光需要を取り込むような更なる観光情報の発信を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の観光情報の発信を強化し、旅行商品の造成等市内の回遊性の向上やまちのにぎわいを創出する取組を行う。
交通政策	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市観光情報・物産館「YOT-TOKO(よっとこ)」へのバスルートとして選定されている市道2-996号線の道路改良工事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東所沢周辺のまちづくりを着実に進めながら、都市高速鉄道12号線延伸促進協議会を中心に12号線の延伸活動を一層促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道2-561号線の道路改良工事を進めていく。 ・引き続き交通政策を含む魅力あるインフラ整備を促進していく。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾向けにデジタル配信や台北国際旅行博への出展を行い、海外市場に対して旅マエの情報発信を行った。 ・台湾現地旅行会社に対して、本市の観光情報を提供する等して、本市が旅行商品に組み込まれるよう促進した。 ・所沢市観光ガイドブック(多言語版)の増刷、多言語対応の観光案内板及び道標を設置により、外国人観光客の受入体制の整備を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ところざわサクラタウンを訪れる外国人観光客の団体ツアーは増えているが、市内の他の観光施設への誘客につながっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の更なる誘致を進めるため、海外市場に対する旅マエ/旅ナカでの情報発信を行う。 ・外国人観光客の満足度を向上させるため、市内における外国人観光客の受入体制整備を進める。

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(2)「産業用地創出」による産業振興
----------	--------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用推進エリアの特性に応じた事業計画とするための関係者との協議 ・事業計画の立案に向けた地権者の合意形成 ・必要に応じた都市計画変更手続きの実施 ・企業誘致に向けた産業用地情報の効果的な発信や立地相談 ・企業立地支援奨励金制度の活用による支援
--------------------	--

進捗状況	順調に進行している(経営企画課で全体評価)
------	-----------------------

令和4年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ島工業団地周辺地区について、市は埼玉県条例に基づいた環境影響評価の実施や、埼玉県等関係機関との協議を進めた。地権者組織である準備会では、設計等に取り組み、市は支援を行った。 ・関越自動車道所沢IC周辺地区については、市は地権者に対し民間活力を活用した区域を検討する必要性を説明し、地権者有志で発足した発起人会により、区域検討パートナーを選定し、区域の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業団地の創出に向けては埼玉県等関係機関との協議を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ島工業団地周辺地区について、組合設立に向けた法手続きを進める。 ・関越自動車道所沢IC周辺地区について、発起人会とともに民間活力を活用し、事業として実現可能な区域を検討する。 ・松郷工業団地周辺地区の産業団地創出に向けた手法を研究する。
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県主催の企業立地セミナー(名古屋)において、三ヶ島工業団地周辺地区に創設される産業団地の情報提供を行った。 ・三ヶ島工業団地周辺地区への企業誘致の推進を図るため、PR動画を作成し市ホームページで公開したほか、北海道、東北、中国、四国、九州の製造業者に向けて三ヶ島工業団地周辺地区のPR用のDMを発送し、情報発信に努めた。 ・市内の金融機関のうち営業基幹店を訪問して、他支店などで拡張移転などを考えている取引先への働きかけの協力依頼を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、産業用地創出に向けた取り組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ島工業団地周辺地区は、準備会や事業協力企業と情報共有・連携することで、市内企業の拡張移転や市外企業への誘致を進める。 ・三ヶ島工業団地及び松郷工業団地以外の土地利用転換エリアは、引き続き本市の特性や企業立地奨励金等の支援策等のPRを行い、企業誘致を進める。

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(3)「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化
----------	----------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業(所沢駅西口地区、北秋津・上安松地区)の推進 ・所沢東町地区第一種市街地再開発事業の推進 ・都市計画道路(所沢駅ふれあい通り線、中央通り線)の整備 ・歩行者ネットワークの整備による回遊性の創出 ・居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成
進捗状況	順調に進行している(経営企画課で全体評価)

令和4年度の取り組み			
項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
所沢駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口土地区画整理事業において、県道久米所沢線の歩道の一部を拡幅させるとともに、公園の拡張を行った。 ・鉄道の地下で立体交差する所沢駅ふれあい通り線について、所沢市土地開発公社から道路用地を買い戻したほか、地中構造物の工事を行った。また、今後の道路工事に支障となる線路の分岐器を西武鉄道株式会社が協定に基づき移設させた。 ・「所沢駅周辺まちづくり連絡協議会」を開催し、駅周辺の回遊性の創出や大型商業施設と既存商業との連携等について意見交換を行った。また、人を中心にしたまちづくりの実現に向け、所沢駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの設計や所沢駅西口駅前広場の再整備について検討を行った。 ・所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業が完了し、所沢駅西口北街区市街地再開発組合が解散した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、より多くの来街者が訪れることが見込まれる所沢駅周辺の基盤整備を早急に進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口土地区画整備事業及び所沢駅ふれあい通り線については、権利者の理解を得ながら事業の早期完了を目指す。 ・所沢駅周辺のにぎわい創出を図るため、居心地がよく歩きたくなるようなまちづくりの形成に向けた基盤整備を進める。
北秋津・上安松	<ul style="list-style-type: none"> ・組合が実施する道路や調整池の工事に対し補助金を交付するとともに、指導・助言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合が計画的に事業を進められるよう調整を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合が令和8年度完了を目指していることから、引き続き助言・支援を行う。
所沢東町周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢東町地区第一種市街地再開発事業では、令和4年1月に施設建築物の建築工事、事業区域内の道路整備工事が令和5年3月末に完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅周辺の賑わいの創出を図るため、拡幅整備された都市計画道路の歩道空間の整備方針を確定させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢東町地区第一種市街地再開発事業については、令和5年度の組合解散・事業完了を目指し引き続き助言・支援を行うとともに、都市計画道路の歩道空間の整備方針を確定し、有効利活用に向けた整備をしていく。 ・また、ファルマン通り交差点の改良及び交差点周辺の無電柱化工事を行うことにより、交差点全体の一体的整備を進めていく。
元所沢駅交差点周辺から	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に策定した「所沢駅周辺グランドデザイン」に基づき、所沢駅周辺から元町交差点付近までの地域を対象とし、街なかのパブリックスペースなどを活用しながら、官民が連携し、回遊性と賑わいの創出に向けた街づくりを進める取組の一環として、社会実験やシンポジウムなどを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 官民連携に向けた街づくりを推進するため、体制づくりの構築を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体制づくりの構築に向けて、引き続き、社会実験・空間デザイン等を行うとともに、様々な効果を検証していく。

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(4)「水とみどりがつくるネットワーク計画」の推進
----------	---------------------------

令和7年度までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全地域や市民の森などのみどりの保全 ・狭山丘陵の魅力の発展・向上などのにぎわい創出 ・水辺の保全や散策路整備など、みどりとにぎわいをつなぐ ・みどりを楽しく散策する仕組みの構築 ・みどりの魅力の効果的な発信
進捗状況	順調に進行している(経営企画課で全体評価)

令和4年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
みどりの保全	<ul style="list-style-type: none"> ・地域制緑地は「北岩岡・下富特別緑地保全地区」「北秋津・大堀山まちなかみどり保全地区」を指定した。 ・「上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域」「三ヶ島二丁目里山保全地域」「荒幡富士市民の森」等の土地12,395㎡を取得及び寄附受入れにより公有地化した。 ・新所沢保育園、吾妻保育園、西所沢保育園、松郷保育園の園庭の芝生の維持管理を進めた。 ・まちなかにおけるみどりを創出し憩いの場として整備するため、西住吉北中三丁目地内に、市内2か所のみどりのエコスポットを設置した。 ・上山口地内の水田のうち5筆について耕作、田植え、稲刈り等保全管理を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地は相続や開発等により消失の恐れがある。 ・緑地購入のための財源確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の公有地化を行うとともに、里山保全地域などの地域制緑地の指定を引き続き進める。 ・「ふるさとの川再生事業」については、市ホームページなどにより周知を図り協力団体を募るなど、更なる事業の推進を図る。
計画・散策路	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内調整会議「みどりとココ・プロジェクト会議」を開催し、事業の状況確認と関係課間の情報共有を行い進展を図った。 ・三ヶ島三丁目及び五丁目地内の砂川堀にウッドチップを敷き、護岸整備、剪定伐採等を行い、本計画を構成する川沿いの散策路整備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山丘陵の魅力を高めるため、散策用トイレの設置や案内板、道標の整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を推進するため、庁内調整会議「みどりとココ・プロジェクト会議」を定期的開催し、事業の進捗状況を確認していく。
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により2年間中止していたみどりのふれあいウォークを再開し、1,363人の参加があった。 ・みどりのカーテンコンテストや、生物多様性に関する展示等による啓発を行ったほか、広く効果的に本市のみどりの魅力を発信するため、5か所の緑地について、空撮等による紹介映像を作成した。 ・みどりのパートナー活動を推進し、登録者は1,517人となった。 ・みどりのパートナーへの情報提供や補助金等の支援、技能向上のためのみどりのパートナー育成講座中級編を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりを活用した啓発事業の充実を図るとともに外国人等を含めた来訪者に対する受入体制整備が必要である。 ・近隣市等との連携による豊かな自然を活かした魅力発信が必要である。 ・みどりのパートナーをはじめとする自主的な市民活動への支援とともに市民活動の拡大に向けた仕組みづくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きみどりのふれあいウォークの実施等、啓発事業を進めていく。 ・みどりのパートナー活動推進のため、支援制度の充実を図り講座の開催や緑地管理のアドバイス等を行っていく。

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (1) まちの魅力をUP

基本目標	<p>所沢市の魅力を高め、住み続けたいまち、訪れたいまちを目指します</p> <p>本市は、都心から30kmに位置しているなかで、豊かなみどりや農産物に恵まれており、都会と田舎が程良く混在した地域です。</p> <p>このような市域の特性や市が持つ資源を機能・調和・融合させて、「所沢ブランド*」による効果的なPRを進めながら、まちのにぎわいを創出し、経済の活性化を進めます。</p> <p>また、人と自然と文化が調和したまちづくりを進め、人々が集い・憩い・安らぎを感じる住み続けたいまちを目指します。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している(経営企画課で全体評価)

令和4年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・野老澤町造商店との連携、新規創業支援推進事業等を実施している。 ・所沢市ロケーションサービス事業やイメージマスコット「トコロん」等を通じ、所沢を市内外にPRした。また、FacebookやトコロんのTwitterを活用し情報を発信した。 ・「小茂田青樹写生画・山路真護油彩画展」・夏季企画展「戦争の時代を生きた市民1931-1945」・冬季企画展「昔さがし～病とくらし～」・「ところざわ埋文教室」・体験学習会等を開催し、ふるさと所沢の豊かな自然やくらし、文化財の魅力を発信した。 ・公民館使用ガイドラインにより使用に関して制限を設けていたが、5類感染症への移行とともに、公民館利用及び公民館事業をコロナ前に戻しつつ、地域住民の学びを支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後見込まれる人の流れを市域全体に広げていくための方法を検討する必要がある。 ・市外に対する情報の伝達が十分でない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、事業が従来通り実施できない。防疫対策を講じながら事業の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市の観光資源の魅力をSNS等を活用し効果的に発信していく。 ・所沢で生まれ、育まれてきた有形・無形文化財等の保存・活用を図り、県史跡「滝の城跡」の整備を進める。また、国指定登録有形文化財「秋田家住宅」の整備・活用に向けての調査の開始、地域社会総がかりで文化財の保存活用に取組んでいくための所沢市文化財保存活用地域計画の作成、郷土資料等収蔵施設の整備など、文化財の保護と活用に努める。 ・感染防止対策と学習拠点としての機能の持続を両立しつつ、各地区の特色を活かした事業実施を進め、地域住民の学びの支援を行う。
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても市民の生活に潤いを与えていけるよう、コンサートの開催やストリートピアノの設置等により、「音楽のあるまちづくり」を推進した。 ・所沢航空資料調査収集する会と連携し、航空発祥の地・所沢の魅力を伝える講演会を実施した。また、「フランス航空教育団と日仏交流」次の100年事業として所沢飛行場やフランス航空教育団のことがわかる短編映画「飛行場のまち～所沢からはじまる物語～」を製作し、完成上映会を実施した。 ・各イベントの再開に伴って観光協会と連携して出店参加した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となった「所沢市民フェスティバル」は、好天にも恵まれ約30万人の来場者があった。コロナ禍での開催であったため、飲食スペースの確保や消毒液の設置など、来場者の安全・安心に配慮した感染症対策を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナに向け、「音楽のあるまちづくり」のさらなる推進が求められる。 ・各イベントの再開が見込まれることから所沢の魅力を発信するため参加していく。 ・中心市街地のみならず市域全体でにぎわいが創出されるよう支援していく必要がある。 ・人件費・物価の上昇が続いており、設営・警備・清掃等の委託業務における費用が高くなってきている。安定的かつ継続的な運営のため、財政面の強化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽のあるまちづくり」を推進するため、「空飛ぶ音楽祭」や市内各所でのコンサートを開催する。 ・フランス航空教育団来日100周年記念イベントで連携した関係団体等との関係を深め、短編映画「飛行場のまち～所沢からはじまる物語～」の上映会を開催するなどにより、「航空発祥の地 所沢」を市内外にPRしていく。 ・観光協会などの関係諸団体と連携して所沢の魅力をPRしていく。 ・所沢市の魅力の発信のため、今後は、これまで40年以上にわたり積み上げてきたイベントとしての魅力を残しつつも、時代を捉えた新たな魅力を創出していくことで、来場者が「所沢の今」を体感・体験できる場となるようイベントの充実を図っていく。
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・市長を団長とした所沢市代表訪問団をイタリアのティエーネ市に派遣し、今後の両市が文化・美術等の交流を続けていくための覚書を交わした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティエーネ市との今後の交流について、具体的な内容を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティエーネ市の訪問団を本市に受け入れるとともに、都市間交流を進めていく。
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・世界水泳選手権2023福岡大会に参加するイタリア水泳選手団の事前キャンプ受入れ事業を予定していたが、大会が次年度に延期となった。 ・所沢市ゆかりのアスリートを認定し、その活躍を応援することでスポーツを身近に感じる機運の醸成を図った。 ・地域力活用事業として、西武ライオンズ・所沢グリーンベースボールと連携し、親子ティーボール教室・所沢市スポーツ少年団と連携し、所沢市小学生持久走大会、西武ライオンズと連携し、学校へ訪問するベースボールチャレンジ、さいたまブロンコスと連携し、学校へ訪問するふれあいキャラバンを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを「する」「みる」「ささえる」「もりあげる」取組を通じてスポーツを楽しむ市民を増やす。 ・さらなる地域の人材、団体、企業との連携を確立していくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界水泳選手権2023福岡大会に参加するイタリア水泳選手団の事前キャンプ受入れを行い、市民との交流機会を設ける。 ・ゆかりのアスリートの情報発信を積極的に行い、報告会や講演会を通じてスポーツに触れる機会を増やす。 ・地域力を活用し、更なるスポーツにふれあう機会を拡大していく。
農産物	<ul style="list-style-type: none"> ・品評会、販売会、収穫体験等を通じ、生産者と消費者の交流を図り相互理解を深めることで地産地消を推進した。 ・茶香炉を公共施設に設置するとともに各種イベントで活用することで狭山茶の魅力をPRした。 ・本市ブランド品のさといもの安定した生産と品質向上を目指すため、さといものを生産する農業者等へ補助金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのにぎわい創出の一環として、農業者・農業団体等との協力を得ながら、自主イベントの企画・運営、他自治体等のイベントへの参加等を積極的に進め、所沢農産物をPRしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業祭や収穫体験の開催、所沢市農産物直売所ガイドマップや地産地消レシポの作成、ところこ市の開催支援、体験農場の管理・運営等を継続して行っていくことで、所沢農産物の魅力をより多くの市民等へ伝え、消費の拡大及び地産地消の推進を図る。

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (2)産業の力をUP

基本目標	<p>産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します</p> <p>都市へのアクセスがしやすい本市は、首都近郊都市として発展してきた一方で、世界に名だたる工業製品を生産する企業も存在しています。</p> <p>地域の活力の基礎となる、そのような個性豊かで競争力のある企業の発展を支援するとともに、地域で安心して働くことのできる、仕事と家庭の両立がしやすい環境づくりを行います。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している(経営企画課で全体評価)

令和4年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者・国・県・各産業関連団体等を委員とした「所沢市産業振興ビジョン推進会議」を開催し、所沢市産業振興ビジョン《後期アクションプラン》を策定した。 ・埼玉県主催の企業立地セミナー(名古屋)において三ヶ島工業団地周辺地区に創設される産業団地の情報提供を行った。 ・市内の金融機関のうち営業基幹店を訪問して、他支店などで拡張移転など考えている取引先への働きかけの協力依頼を行った。 ・企業立地支援奨励金6件、都市型産業等育成補助金4件を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容の点検・評価を適宜行い、必要に応じて見直しを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市産業振興ビジョン《後期アクションプラン》の進捗管理を行いながら必要な施策を行う。 ・工場等の新設や拡張について、引き続き企業立地等奨励金や都市型産業等育成補助金により支援を行う。 ・所沢市における地域経済動向調査等を継続し、市内経済の課題等を把握し、施策検討を行う。
商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街空き店舗の活用を行い、商店街の活性化を図った。 ・市内商店街の取組に対し補助金を交付し、地域・経済の活性化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗の活用については、単に商店街に加入するだけではなく、商店街自体の活性化に向けて新たな担い手候補となるようつなげていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も商店街の空き店舗を活用した新規創業の促進とともに、商店街活動への参加を図る。 ・市内商店街の活性化を図るため、商店街の取組に対し、補助事業を行う。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業への新規参入者に対して、経営の早期安定化を図るため、新規就農者や新規に参入する農業法人に対して農地賃借等に係る費用の一部を補助した。 ・新規就農者に対して、経営資金や機械施設の導入に係る費用の一部を補助した。 ・経営改善を図るため、認定農業者に対して、機械購入等に係る費用の一部を補助した。 ・地場産農産物の学校給食への活用を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興に当たっては、担い手育成や農業経営を合わせた継続的・総合的なサポートを進める必要がある。 ・学校給食への地場産農産物の使用率を上げるには、農産物の提供側、活用側の双方の理解をさらに深める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者へ充実したサポートを行うため、農地サポート事業の一層の周知を図り、農地の集積化及び集約化を促進する。 ・農業経営基盤の強化を図るため、新規就農者や認定農業者等への補助事業等を継続的に行う。 ・農業経営等の一助となるよう、先進的な取組の実践者を招いた講演会を実施する。 ・関係者間において、学校給食に使用する農産物の形状、納品方法、量の割当、使用時期、取りまとめ等について協議・調整を行っていく。
労働	<ul style="list-style-type: none"> ・セカンドキャリアセンター所沢事業や就労チャレンジ支援事業など、若者及び女性並びにシニア等の就労支援に取り組み求職者の支援をした。 ・中小企業で働く従業員と事業主の福祉の向上を図るため、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの円滑な運営を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層を中心とし、様々な世代に即した就労支援の拡充を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県とセカンドキャリアセンター所沢事業を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援セミナーを行うとともに、引き続き就職相談を行う。 ・国との一体的な取り組みとしてハローワーク所沢と共同で「就労チャレンジ支援事業」を実施し、生活困窮者及び若年者等の就職を支援する。 ・中小企業勤労者への福利厚生事業を推進するため、中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営事業を支援する。

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (3)みんなの安心をUP

基本目標

すべての子どもたちが尊重され、たくましく健やかに成長できるような環境を整備します

核家族化の進行や地域のつながりが希薄化する中で、人への優しさや思いやり、家族の絆を深めることが必要です。

市の宝である子どもたちが健やかに育つために、子育てについての第一義的な責任を有する保護者が、安心して子育てができ、子育てに喜びや生きがいを感じることができ環境の整備を行うとともに、家庭・事業者・行政はもとより、すべての市民が「市の宝」である子どもたちの幸せを願い協力し合える、地域・社会全体の仕組みづくりに努めます。

そして、子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くために、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成することができる教育環境を創り、「学ぶなら所沢」といわれるまちを目指します。

進捗状況

概ね順調に進行している(経営企画課で全体評価)

令和4年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び創造アクティブPLUS」に基づいた学力向上支援を行い、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進した。 ・児童生徒の自己肯定感を高め命の大切さを考える「心のエネルギープロジェクト」について、全ての学校で年間計画を策定した。「今、あなたがここにいること」というメッセージと映像資料の活用を工夫しながら、各校の実態に合わせた取組を行った。 ・いじめ問題や不登校などの課題に対応するため、市費スクールカウンセラーや心理士・スクールソーシャルワーカー等による相談活動の充実を図るとともに、教育相談アドバイザーから支援いただき、学校の対応力や組織力を高めた。また、いじめ問題対策委員会の指導や助言を受け、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努めた。 ・小学校の施設を利用できるように3クラブで修繕を行い定員拡大した。民設民営児童クラブについては1クラブを開所したほか、1支援単位を増やし放課後児童健全育成事業の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上の推進に向けた事業は定着してきたが、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を更に進め、多様な考えを引き出すための必要感のある学び合いの在り方などをさらに検討していく必要がある。 ・いじめや不登校などの課題は複雑化・多様化している。他機関とも連携し、1人1人に寄り添った丁寧な対応が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予測不可能と言われる時代の中で、一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、確かな学力の育成の取組を進める。 ・引き続き、各相談員による相談活動や教育相談アドバイザーによる支援を充実させ、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努め、児童生徒の健やかな心の育成を図っていく。 ・生命を尊重し、すべての児童生徒にとって過ごしやすい学校となるよう「心のエネルギープロジェクト」を推進し、教員の授業力や学級経営力を高め、児童生徒の自己肯定感を育むことで、主体的に生き抜く力を育成している。 ・様々な手段を活用することにより放課後児童健全育成事業の充実を図る。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・こども支援センターでは、親子が交流できる広場の提供、子育て情報の発信や子育て相談を行う子育て支援事業と、発達障害の相談、親子教室、講演会等を行う発達支援事業を実施した。 なお、子育て支援と発達支援の機能が同階に併設していることを活かし、各事業が連携しながら多様な子育て相談、必要に応じた適切な早期療育へ繋ぐ支援を実施した。 ・ところっこ子育てサポート事業では、保育士が育児相談や保育園・幼稚園等の入園、地域子育て支援施設の案内をこども支援課窓口とこども支援センターで実施し、身近な立場で支援した。また「子育て世代包括支援センター かるがも」では、産後ケア事業「宿泊型」に加え「デイサービス型」を開始し、産後の母子へ支援の拡充を図った。さらに助産師等の専門相談員が相談、助言及び関係機関等との連携により支援した。 ・妊娠、出産、子育てに関する情報をまとめた「ところっこ子育てガイドブック」を発行し、情報発信に努めた。 ・三世帯同居を進める施策に関する事業について市ホームページに掲載し周知を図った。 ・保健センターにおける1歳6か月児健康診査受診後に、絵本の読み聞かせにより、親子のふれあいの大切さを伝え、地域の子育て支援施設や図書館で交換できる絵本の引き換えチケットを配布することで、施設の利用につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声を踏まえながら、よりよい支援につなげていく必要がある。 ・子育てに関する相談内容が多岐にわたるため、関係機関との連携をより一層充実していく必要がある。 ・子育て支援の更なる充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもが生まれた環境によって左右されることなく健やかに成長するための各事業の充実を図る。 ・こども支援センターの子育て支援事業について、親子が気軽に交流や相談できるよう、支援の充実を努める。 ・同センターの発達支援事業について、相談支援、通所支援、地域支援を充実させ、発達障害の早期支援を行う。 ・第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て環境のさらなる充実を図る。 ・産後、心身の不調や、育児に不安がある等支援を必要とする母子に産後ケアを実施する。 ・地域での子育て支援体制の充実を図る。 ・全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的かつ切れ目のない相談支援を行う機関として、現行の「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を統合した「こども家庭センター」の設置に向けて準備を進める。

第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (4)暮らしやすさをUP

基本目標	<p>安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指します</p> <p>震災や異常気象といった被害により、地域の安全に対する意識が大きくなっているため、安心で安全なまちが求められています。</p> <p>人と人が絆を紡ぎ、助け合いの心を育むことができるよう、コミュニティや住民活動を支援しながら、防災力・防犯力・地域力の強いまちを目指します。</p> <p>また、人と環境に優しく、安全・円滑・効率的な道路・交通機能の確保と向上を目指すとともに、災害時にも、機能を維持できる重要インフラ整備や良好な住環境の形成を進め、市民の暮らしやすさの向上に努めます。</p> <p>さらに、必要なときに必要な医療を受けられるよう、医療体制の充実を図ります。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している(経営企画課で全体評価)

令和4年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協議会への交付金の交付などを通じて、それぞれの地区の特性に応じた主体的な活動の支援を行った。 ・自治会・町内会への加入促進を行った。(啓発パンフレット配布、所沢市自治連合会共催での加入促進ポスター展、広報ところざわでの市内11地区の活動紹介等) ・集会施設の修繕や維持管理の費用助成による活動拠点の整備を行った。 ・市民活動支援システム「ところんWeb」では、地域活動の情報発信強化のため、市民活動支援センターの登録団体だけでなく、生涯学習センターの人材バンク、地域福祉センター登録団体も利用可能にした。 ・避難行動要支援者支援名簿を作成し、自治会・町内会長、民生委員に配布した。 ・自主防災団体に対し、活動状況のアンケート調査や、防犯資機材の貸出、防犯指導者養成講座を実施した。 ・わんわんパトロール登録者数が1,817名に達した。 ・空き家の適正管理に関する条例に基づき所有者に指導した結果、令和4年度は過年度分の相談分を含め110件解決した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止・縮小となっていた活動に、徐々に回復の兆しがみられる。しかしながら、役員の交代や、経験者の減少等から行事等の再開に苦慮している様子が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織、自治会・町内会と協働して、家具の転倒防止策や食料の備蓄の必要性を啓発していく。 ・自主防災団体の活動状況を把握し、必要な支援を行う。 ・地域活動が円滑に再開できるよう、地域の団体の運営や活動の相談に応じるなど、その主体的な活動を支援する。 ・自主防災団体の活動状況を把握し、必要な支援を行う。 ・空き家の適正管理に向け、所有者に対して適切な指導を行う。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい交通手段(形態)として、新たに柳瀬地区で「ところんワゴン」の実証運行を開始するとともに、富岡地区における実証運行開始のための準備を進めた。 ・「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区、所沢市で構成)」において、延伸にむけた検討を進めるとともに、東京都、及び埼玉県への要望活動を行った。 ・都市計画道路北野下富線の用地取得、道路工事及び橋りょう詳細設計、道路実施設計を実施した。 ・都市計画道路松葉道北岩岡線の歩道整備及び道路付属施設整備を実施した。 ・「西所沢駅西口開設整備計画」(平成27年度策定)に基づき、同駅西口周辺の安全性・利便性向上のため、西口改札口の早期開設を目指し、鉄道事業者との協議を行い、基本計画を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中心部の慢性的な交通渋滞が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞解消に向け、主要幹線道路である埼玉県施行の飯能所沢線の建設促進を図るとともに、市内幹線道路のうち優先して北野下富線、松葉道北岩岡線及び所沢駅ふれあい通り線の整備を進める。 ・富岡地区におけるところんワゴンの実証運行を行うとともに、三ヶ島地区における3年間の実証運行の総括を行い、本格運行を目指す。 ・西所沢駅西口改札口の早期開設を目指し、まずは鉄道事業者との基本協定を締結し、駅舎等の調査・設計、及び西口周辺の安全対策についての検討を進める。
保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市域において、365日、昼間・夜間・深夜のすべての時間帯で小児初期救急診療体制を維持するため、関係医療機関等との調整を図った。 ・「トコトコ健幸マイレージ事業」については、市民が楽しみながら継続できる健康づくりの取り組みとして、本市の健康増進事業の中心として実施しており、公共施設や各種事業等における周知に加え、令和4年11月に開催された「ところんウォーク2022」を市独自ポイント対象事業としたり、12月に「ウォーキング促進強化月間」の取組を実施した結果、令和4年度末の参加申込者数は13,798人となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行により外出の機会が減少したことによる健康への影響や、特に高齢者の体力低下が懸念されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次所沢市保健医療計画に基づき、市民の健康増進につながる取組を実施し、進行を管理していく。 ・市民が「誰でも、いつでも、どこでも、いつまでも」楽しみながらから自らの健康づくりに取り組めるよう、引き続き「トコトコ健幸マイレージ」を実施していく。

令和4年度所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理表

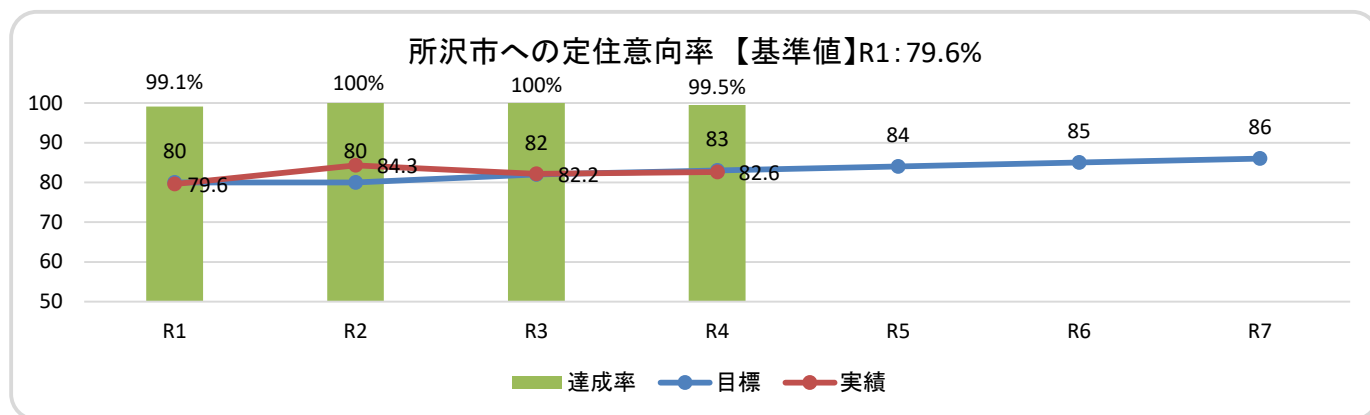
戦略方針(1)まちの魅力をUP

【基本目標】所沢市の魅力を高め、住みたいまち、訪れたいまちを目指します

■関連する重点プロジェクト

- (1)「COOL JAPAN FOREST構想」の推進
- (4)「水とみどりがつくるネットワーク」の構築

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
所沢への定住意向率 (市民意識調査)	目標	80	80	82	83	84	85	86	%
	実績	79.6	84.3	82.2	82.6				%
	達成率	99.1	100	100	99.5				%



【重要業績評価指標(KPI)】

その1 まちの魅力をさらに高める		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①所沢駅の1日平均乗降客数		102,368	78,002	86,613	95,294				人
②野老澤町造商店が開催するイベント参加人数		82,456	3,782	6,302	25,360				人
③東所沢駅の1日平均乗降客数		15,088	12,056	13,345	14,281				%
その2 まちの魅力を発信する		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①Facebook(広報課)の充実度(いいね!の数)		1,485	1,631	1,683	1,782				人
②観光客数		5,973,445	2,502,709	4,763,779	7,445,732				人
その3 まちに対して愛着や誇りを持ってもらう		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①市の愛着度		87.1	88.5	87.6	89.0				%
②とことろ景観資源の指定件数		194	215	227	235				件
③新たに確保するみどりの面積		86.16	96.83	97.39	105.05				ha
④都市公園の整備面積		142.12	142.49	146.10	146.10				ha
⑤文化芸術・伝統文化に関する施策の満足度		18.5	19.0	18.9	18.9				%

戦略方針(2)産業の力をUP

【基本目標】産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します

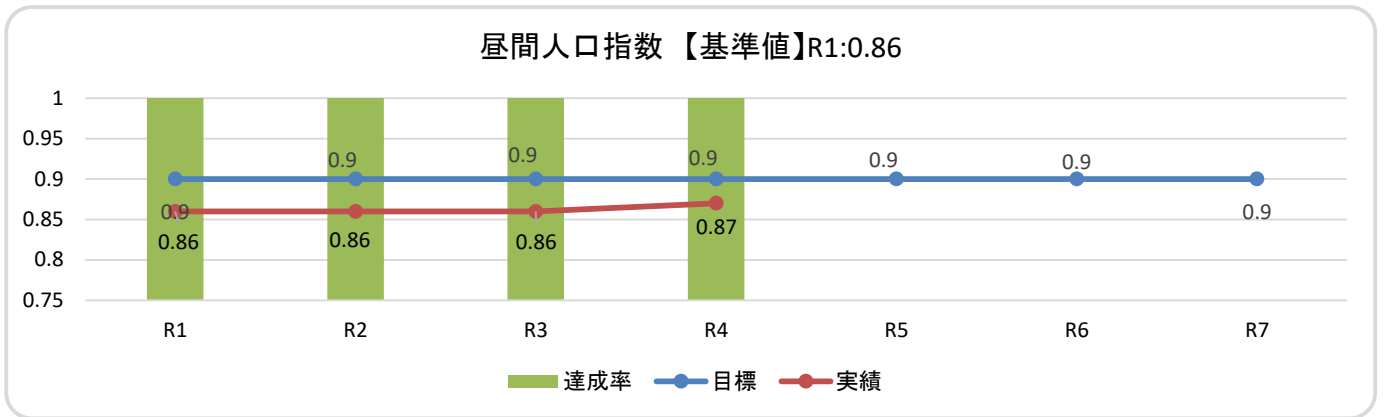
■関連する重点プロジェクト

(2)「産業用地創出」による産業振興

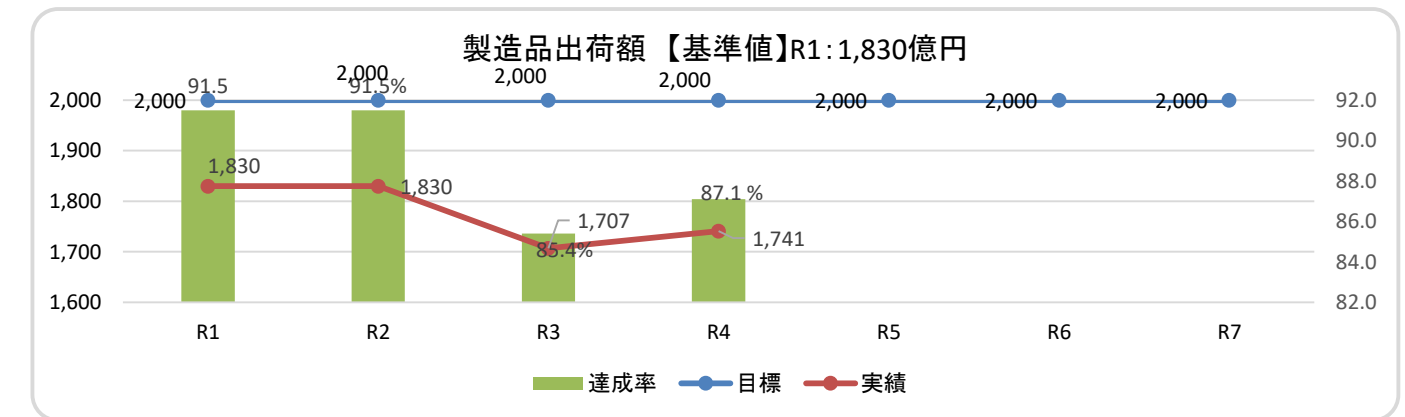
(3)「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化

※国勢調査(5年)毎に更新

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
昼間人口指数 (国勢調査)	目標	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
	実績	0.86	0.86	0.86	0.87				
	達成率	95.56	95.56	95.56	96.67				%



戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
製造品出荷額 (工業統計調査)	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	億円
	実績	1,830 (H29)	1,830 (H29)	1,707 (R1)	1,741 (R3)				億円
	達成率	91.5	91.5	85.4	87.1				%



【重要業績評価指標(KPI)】

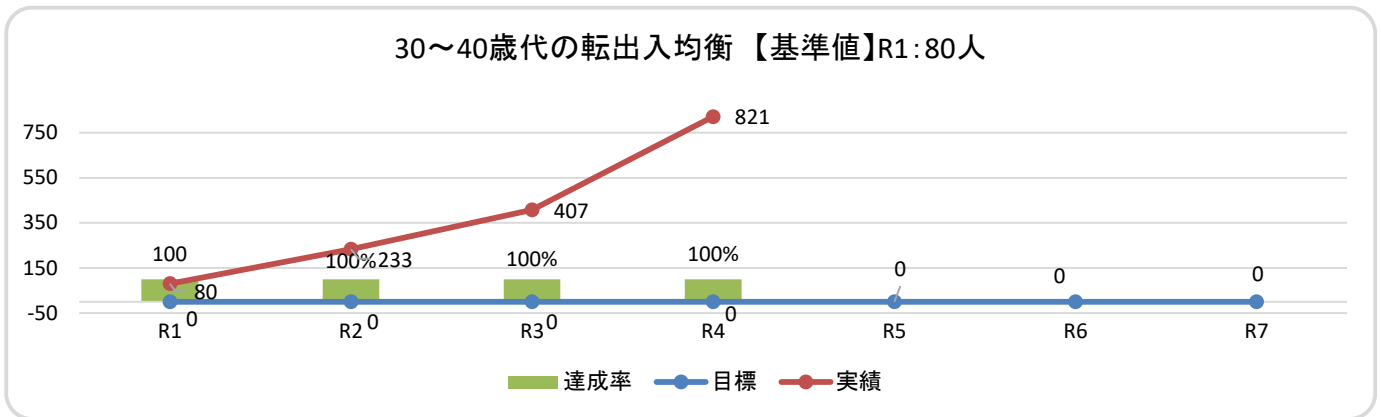
その1 産業基盤を整備する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①農地サポート事業の実績	6.2	2.5	6.1	2.8				ha
②製造業事業所数(従業者数4人以上の事業所)	253(H30)	248(H31)	237(R2)	224(R3)				事業所
その2 経営基盤を安定・強化させる	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①市内卸売業・小売業の年間商品販売額	5,209(H28)	5,209(H28)	5,209(H28)	5,217(R3)				億円
その3 雇用を創出し、就労支援を充実する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①市内事業所従業者数	114,497(H26)	104,000(H28)	104,000(H28)	116,328(R3)				人
②就職応援フェア若年者参加者数	101	92	48	65				人
③就労チャレンジ支援事業による就職者数	148	108	111	110				人
④若年層人口に占める転出数の割合 ※値の削減	17.3	16.4	16.2	16.4				%

令和4年度所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理表

戦略方針(3)みんなの安心をUP

【基本目標】すべての子どもたちが尊重され、たくましく健やかに成長できるような環境を整備します

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
30～40歳代の転出入均衡(住民基本台帳人口移動報告)	目標	0	0	0	0	0	0	0	人
	実績	80	233	407	821				人
	達成率	100	100	100	100				%



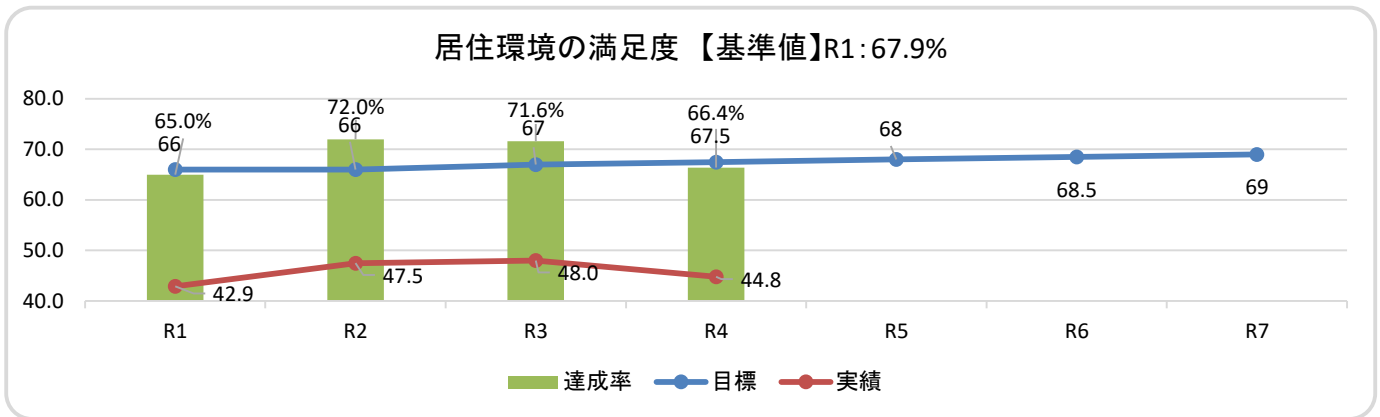
【重要業績評価指標(KPI)】

その1 子どもの育ちへの支援を充実する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①就学前児童の保育待機児童数	14	2	3	33				人
②児童生徒の確かな学力の伸び(埼玉県学力・学習状況調査)	2.0	中止	2.0	2.4				レベル
③新体カテストにおける上位ランクの生徒の割合(中学生)	87.3	中止	83.6	81.8				%
その2 子どもが幸せに過ごせる環境をつくる	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①所沢市子ども支援センターの利用者数	108,712	56,242	61,574	69,224				人
②児童クラブ及び児童館生活クラブ利用料の助成件数	613	632	626	655				件
その3 子どもと“みんな”がつながる	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①妊婦健康診査の受診率	94	94	96.7	97.6				%
②地域子育て支援拠点施設の利用者数	248,614	96,463	129,668	156,545				人

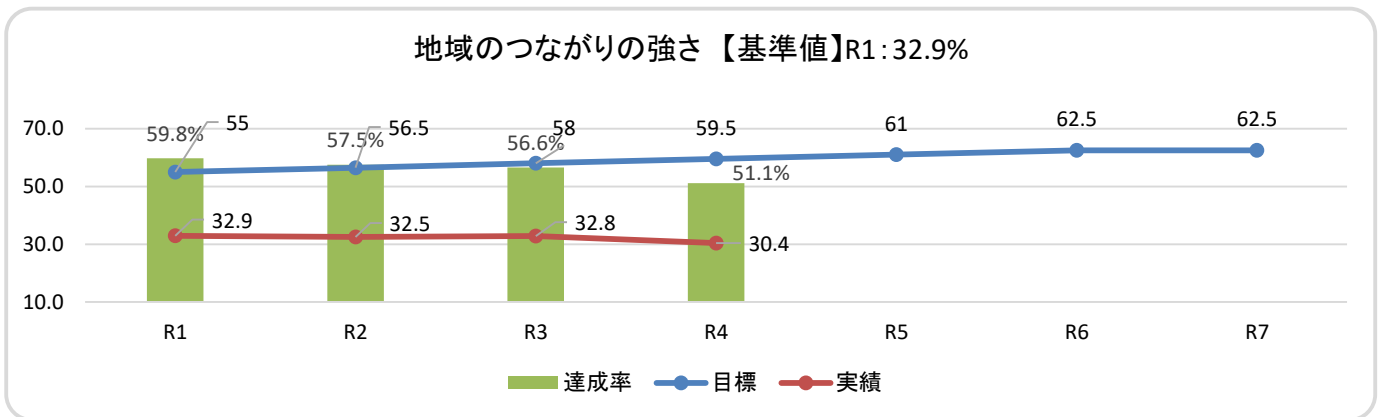
戦略方針(4)暮らしやすさをUP

【基本目標】安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指します

戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
居住環境の満足度 (市民意識調査)	目標	66	66	67	67.5	68	68.5	69	%
	実績	42.9	47.5	48.0	44.8				%
	達成率	65.0	72.0	71.6	66.4				%



戦略指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
地域づくりに関する施策 の満足度 (市民意識調査)	目標	55	56.5	58	59.5	61	62.5	62.5	%
	実績	32.9	32.5	32.8	30.4				%
	達成率	59.8	57.5	56.6	51.1				%



【重要業績評価指標(KPI)】

その1 地域の絆づくりを大切にする	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①自主防災組織数	215	215	214	214				組織
②犯罪発生件数 ※値の削減	2,448	1,932	1,657	1,656				件
③地域づくり支援事業への地域住民の参加人数	130,995	40,496	5,770	99,544				人
④自治会等への加入世帯数	98,026	96,973	96,352	95,209				世帯
その2 快適な交通環境を提供する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①都市計画道路の整備状況	71.2	72.2	72.3	72.3				%
②生活道路の整備推進	723	1854	2,027	2,844				m
その2 快適な交通環境を提供する	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	単位
①「第2次所沢市保健医療計画」の策定・推進	策定	推進	推進	推進				
②健康寿命の順位(男・女)	4(H30)	8(R1)	9(R2)	12(R3)				位
	11(H30)	14(R1)	17(R2)	15(R3)				位
③「トコトコ健幸マイレージ事業」の参加者の1日平均歩数	8,071	7,242	7,029	7,201				歩
④こころの健康講座等の参加者数	3,334	2,898	3,343	3,099				人